

総務省「プラットフォームサービスに関する研究会」 偽情報対策に向けたLINEの取り組み

LINE

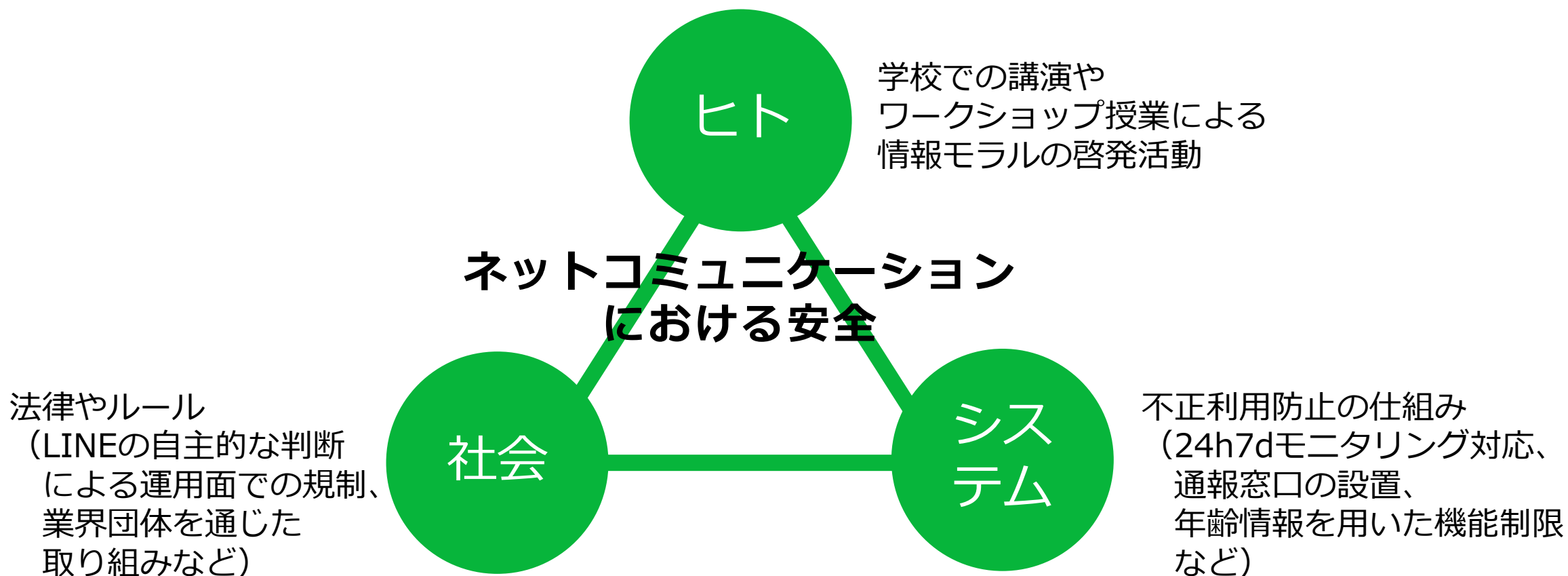
Contents

LINEやインターネットの安心安全な利用に向けて

- 01 リテラシー向上のための啓発活動
- 02 削除に関するポリシーの明示
- 03 透明性レポートの公開
- 04 LINE Taiwanにおける先進事例
- 05 ユーザーからの通報への対応
- 06 広告にかかる配信前/後のダブルチェック
- 07 メディアプラットフォームとしての信頼性の確保

LINEやインターネットの安心安全な利用に向けて

インターネットを“安全に”利用できる環境を整える



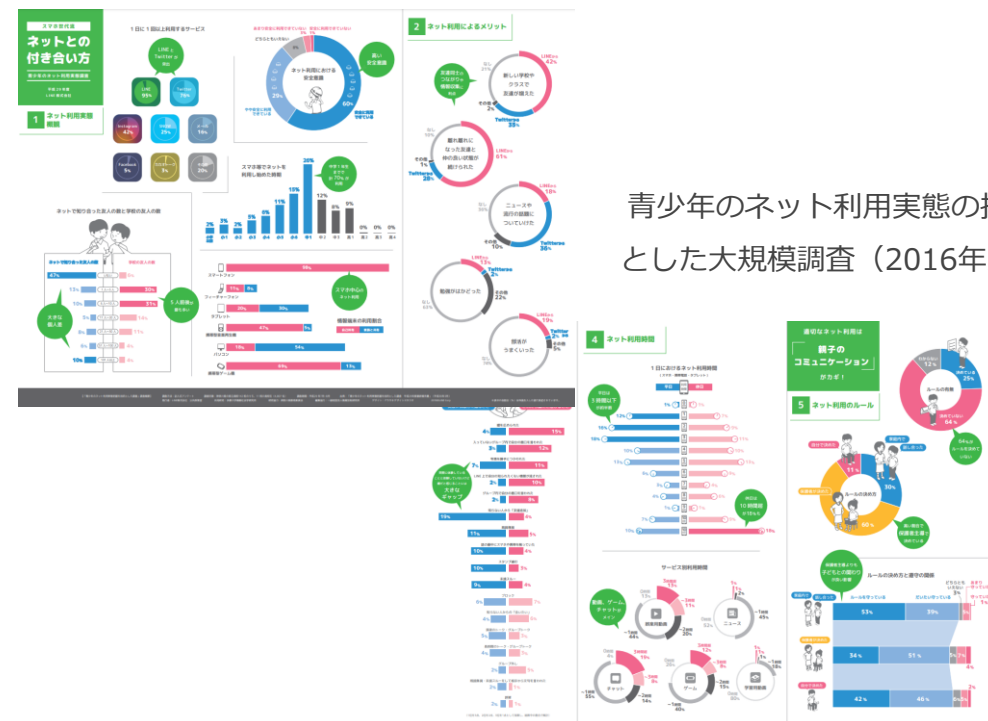
01 リテラシー向上のための啓発活動

- 全国の学校や地方公共団体から申し込みを受け、青少年の健全なインターネット利用を啓発する講演活動を無料で実施しています。

└ 専門講師を派遣し、子どもたちにはインターネットやSNSにおけるコミュニケーションの特徴や利用時の注意点を、保護者・教職員の皆さまには子どもたちをトラブルから守るためのポイントを伝えています（2019年時点で累計約10,000回以上実施）。



- 情報モラル・情報リテラシーの啓発活動の強化やネットトラブル防止を目的に、自治体や専門家と協力しながら、青少年のネット利用についての調査研究を自ら実施しています。



01 リテラシー向上のための啓発活動

- LINE Safety Center「LINEの安心安全ガイド」にて、禁止されている行為など投稿に関するルールや利用上の注意点を分かりやすくまとめ、周知しています。



身近な人との安全で楽しいコミュニケーションツールであるために。

LINEは、アジア地域を中心に世界で利用されているコミュニケーションアプリです。
2011年3月11日に日本で発生した震災をきっかけに、家族や友人・恋人など、身近な大切な人との関係性を深め、絆を強くするコミュニケーション手段が、世界中で求められていると考えサービスを開始しました。
すべての人がLINEで身近な人と安心して楽しくつながることができる環境を実現するため、このサイトでは、LINEの基本情報やヒント、ツールをまとめています。
また、保護者や教育関係者の皆さんに向けて、未成年者がトラブルに巻き込まれることを防ぐための情報や、LINEの取り組みについての情報もご用意しました。

02 削除に関するポリシーの明示

- 偽情報をはじめとするサービス上において禁止する行為、また、禁止行為が行われた場合の対応などについて、利用規約において明確にしています。

■ LINE 利用規約（抜粋）

13. 禁止事項

当社は、本サービスに関するお客様による以下の行為を禁止します。

（略）

13.2. 公の秩序または善良の風俗に反するおそれのある行為

13.3. 当社または第三者の著作権、商標権、特許権等の知的財産権、名誉権、プライバシー権、その他法令上または契約上の権利を侵害する行為

（略）

13.5. 当社または第三者になりすます行為または意図的に虚偽の情報を流布させる行為

13.6. ～ 13.15. （略）

14.2. 当社は、お客様が以下のいずれかに該当する場合または該当するおそれがある場合、あらかじめお客様に通知することなく、本サービスの全部または一部の利用の停止、アカウントの停止または削除、本サービスに関するお客様と当社との間の契約（本規約に基づく契約を含みます。以下同じ。）の解除その他の当社が必要かつ適切と合理的に判断する措置を講じることができます。

(1) 適用のある法令または本規約もしくは個別利用条件に違反した場合

(2) ～ (5) （略）

03 透明性レポートの公開

- LINE Transparency Reportの「違反投稿への対応」にて、偽情報への対応を含めた、弊社における全世界でのコンテンツモニタリングの仕組みと対応実績を公開しています。



公開中のレポート



捜査機関からのユーザ情報開示・削除要請

このレポートでは、捜査機関等から当社が受領したユーザ情報に関する要請について記載しています

[レポートを読む](#)



メッセージ及び通話における暗号化の適用状況

このレポートでは、LINEの各機能で提供される暗号化方式の種類、保護対象及び、暗号化の適用状況について記載しています

[レポートを読む](#)



違反投稿への対応

このレポートでは、利用規約や法令に違反した投稿に対して講じた当社の措置について記載しています

[レポートを読む](#)



ユーザからの削除申告への対応

このレポートでは、ユーザから受領した投稿削除の申し立てへの当社の対応について記載しています

[レポートを読む](#)

04 LINE Taiwanにおける先進事例

- 海外拠点の一つであるLINE Taiwanでは、偽情報等を抑制するための初の官民パートナーシップを2019年に締結し、台湾行政院および4つのファクトチェック機関と協力しています。
- 具体的には、
 - ニュース配信プラットフォームであるLINE TODAY上に偽情報等のファクトチェック検証の結果を表示する
 - ユーザー自らが疑わしい投稿等をLINEから送信し、検証結果を得ることができるチャットボットを提供するなどの取り組みを進めています。

ファクトチェック検証の結果を簡単に得られるLINE公式アカウント「LINE訊息查證」

友だち登録数 70万人以上（2021年2月末時点）



04 LINE Taiwanにおける先進事例

- ウェブ版にはファクトチェックされた情報が掲載されており、最新のトピックやカテゴリ別のトピックを調べることが可能です。

LINE 訊息查證

搜尋話題

登入

首頁

最新話題

分類話題

已查核

關注中

如何使用

媒體識讀

合作夥伴

加入官方帳號
一起協助查證
LINE訊息查證

已查核訊息 1/10

每更多 >

今日數據

總舉報人次

286K

總舉報訊息數

42K

最新話題

火星探測器恆心漫遊者，2月18日傳送回地球的4.71億公里之外火星地表的視...

1 週前 18 15

不實

台灣事實查核中心

千萬不可用酒精，消毒車子鑰匙。車內噴灑酒精後，也不要馬上點火，因為...

1 週前 16 11

不實

台灣事實查核中心

CNN 太離譜報假新聞，他以為在講英語的地方就沒人聽得懂中國話嗎？太可惡了！

1 週前 3 2

不實

台灣事實查核中心

TOP10 話題

編號	議題	分類	連結	回報數	關注數
01	 News: 昨天年金改革委員會第14次會議，重點如...	其他	無	406	85
	1 年前	不實	MyGoPen...(2)		
02	 警官的叮嚀：如果你晚上開車，有雞蛋扔向擋風玻...	其他	無	442	46
	7 個月前	不實	MyGoPen...(3)		

火星探測器恆心漫遊者，2月18日傳送回地球的4.71億公里之外火星地表的視...

1 週前 18 15

不實

台灣事實查核中心

關注

千萬不可用酒精，消毒車子鑰匙。車內噴灑酒精後，也不要馬上點火，因為密閉...

1 週前 16 11

不實

台灣事實查核中心

關注

CNN 太離譜報假新聞，他以為在講英語的地方就沒人聽得懂中國話嗎？太可惡了！

1 週前 3 2

不實

台灣事實查核中心

關注

05 ユーザーからの通報への対応

- 偽情報をはじめとする迷惑コンテンツに対しては、各サービス内の通報ボタンから通報いただくことが可能です。ユーザーからの通報に基づき、ガイドライン違反の可能性があるコンテンツを確認・判断し、必要な措置を実施しています。

例：タイムライン

The image shows two screenshots of the LINE app interface. The left screenshot shows a post on the 'タイムライン ディスカバー' (Timeline Discover) page. A red box highlights the three-dot menu icon in the top right corner of the post. A red arrow points from this icon to the right screenshot. The right screenshot shows the '通報' (Report) dialog box. It has a title bar 'タイムライン ディスカバー' and a close button '×'. The main text says '通報する理由を以下から選んでください。' (Please select a reason for reporting from the following). There are five radio button options: 'スパム / 宣伝目的' (Spam / Promotion), '性的いやがらせ / 出会い目的' (Sexual harassment / Meeting purpose), '迷惑行為' (Harassment) - which is selected, '著作権侵害' (Copyright infringement), and 'その他' (Other). Below these options is a small disclaimer: '通報するとLINEに以下の情報が送信され、通報内容の確認・対応や不正利用防止ツールの開発を含む不正利用防止のために利用されます。また、上記目的の達成に必要な範囲で以下の情報を業務委託先に共有することがあります。' (When you report, the following information will be sent to LINE, and it will be used for confirmation and response of the report content, development of anti-abuse tools, and to prevent abuse. Also, within the necessary range to achieve the above purpose, the following information may be shared with business partners). Below this is a section '■送信される情報:' (Information to be sent:) which states '通報するタイムライン投稿とその投稿に対するコメント、通報相手の表示名等、通報者の表示名等' (The timeline post being reported and comments on the post, the display name of the person being reported, the display name of the reporter, etc.). At the bottom of the dialog is a green button labeled '同意して送信' (Agree and send).



06 広告にかかる配信前/後のダブルチェック

- LINE広告では、ガイドラインにおいて政治広告の出稿を認めていません。
- 虚偽広告の出稿については、配信前の審査により配信不可としています。また、審査を経た配信後であっても、虚偽広告を確認した場合は広告配信停止/アカウント停止等の措置を講じています。

ガイドライン
に基づく
配信前審査

配信後の
モニタリング
および対処

■ 広告イメージ



07 メディアプラットフォームとしての信頼性の確保

- LINE NEWSでは、配信前に、配信記事がガイドラインに抵触していないかの確認やファクトチェックも含む校正・校閲を実施し、配信時には公共性・公益性の高い情報をサービスの上部に掲載するなどの取り組みを行っています。
- また、提携媒体に対してはアライアンスの専門組織を設置して日頃から密に連携をとるとともに、ユーザーに対してはニュースの選定基準やレコメンドエンジンによる記事掲出の仕組みなどについて公式ブログ等で分かりやすく発信しています。



「公共性」のあるニュースを上記①部分に掲載



各種SNSを活用した情報発信を実施